

KYOEI STEEL

第78期
株主通信

2021年4月1日▶2022年3月31日

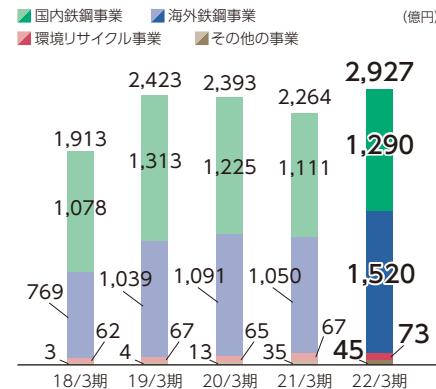


証券コード: 5440

 **共英製鋼株式会社**

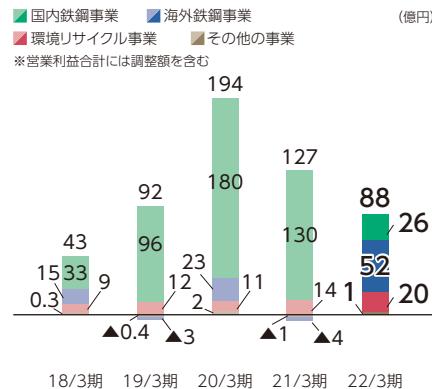
売上高

2,927 億円
 前期対比 29.3% 増 ↑



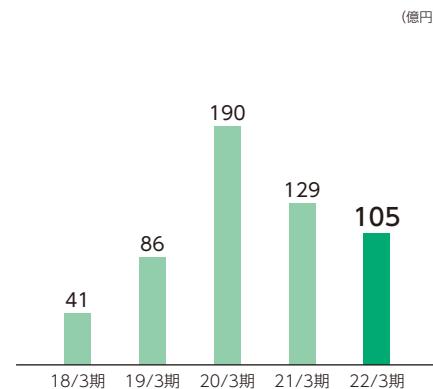
営業利益

88 億円
 前期対比 30.3% 減 ↓



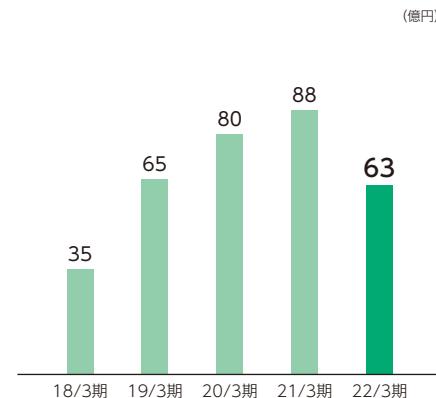
経常利益

105 億円
 前期対比 18.4% 減 ↓



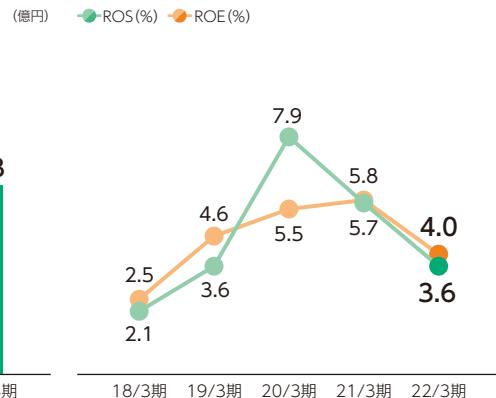
親会社株主に帰属する当期純利益

63 億円
 前期対比 28.1% 減 ↓



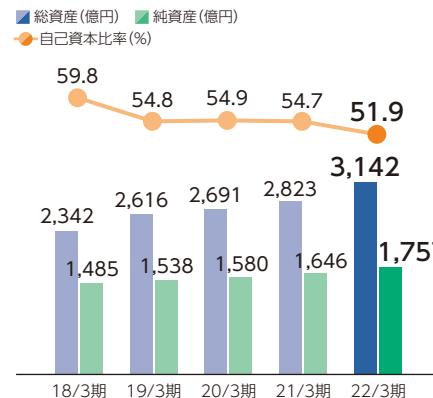
売上高経常利益率 (ROS)
 株主資本利益率 (ROE)

ROS 前期対比 2.1Pt 減 ↓
 ROE 前期対比 1.8Pt 減 ↓



総資産／純資産／自己資本比率

総資産 前期対比 11.3% 増 ↑
 純資産 前期対比 6.7% 増 ↑
 自己資本比率 前期対比 2.8Pt 減 ↓



※1 21/3期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、20/3期の関連する数値にはこれに伴う見直しは反映されていません。
 ※2 22/3期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。第78期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 **廣富 靖以**



— 第78期(2022年3月期)の業績について

前期対比増収減益、国内鉄鋼事業苦戦も 海外鉄鋼事業と環境リサイクル事業が支える

国内鉄鋼事業については、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、当社グループの製品出荷量は若干増加しました。しかし、原材料の鉄スクラップ価格が国内外で上昇し続けたことで、利益の源泉となる売買価格差(製品価格と原材料価格との差額)が縮小し、さらに原油をはじめとした資源高によって諸コストも著しく上昇したため、利益

は大幅減となりました。一方、海外鉄鋼事業については、ベトナムでは下期にコロナ禍によるロックダウンなどの影響で苦しい事業運営を強いられましたが、通期ではベトナム拠点全体で過去最高益となりました。また、北米でも、年間を通じて旺盛な需要環境の下、生産設備の改修などによる製品出荷量増もあり、北米拠点全体で過去最高益となりました。環境リサイクル事業は、難処理廃棄物案件や、新型コロナウイルス感染症関連の医療廃棄物処理案件を効率的に獲得し、2009年3月期以来の好業績となりました。

当期の配当および次期の配当予想について

当期の配当につきましては、期末配当を25円とし、既に実施した中間配当15円と合わせて40円とさせていただきます。次期の配当につきましては、中間配当を15円、期末配当を普通配当25円、創立75周年記念配当5円の30円とし、年間45円を予想しています。





外部環境の大きな変化に晒されながらも、それぞれの事業部門の努力により、一定程度の業績を上げることができたと考えています。

なお、営業利益と経常利益との約17億円の差は、国内外の持分法による投資利益、為替差益などによるものです。

— 第79期(2023年3月期)の業績予想について

国内は復調へ、海外は引き続き堅調

ロシアのウクライナ侵攻により、世界経済は大きく混乱しており、今後の影響もいまだ計り知れません。当社グループは、当該地域で事業は行っていませんが、鉄スクラップ価格のさらなる上昇など間接的な影響は避けられません。国内鉄鋼事業については、需要の回復が期待される一方、利益面では世界的な資源価格の高騰やインフレの長期化、円安などの影響により、厳しい事業環境が予想されます。しかし、下期には製品価格引き上げによる売買価格差の確保などにより、業績の改善を見込んでいます。

海外鉄鋼事業については、ベトナム、北米とも経済活動の回復による堅調な需要を背景に、引き続き好調に推移

する見通しです。環境リサイクル事業については、新型コロナウイルス感染症関連の案件は減少が見込まれますが、処理単価の高い難処理廃棄物案件の獲得に注力し、前期に続く高水準の利益を目指します。

以上により次期の業績予想については、増収増益となる連結売上高3,800億円、連結営業利益105億円、連結経常利益110億円、親会社株主に帰属する当期純利益65億円を予想しています。

— 中期経営計画「NeXuS 2023」の取り組み

「世界3極体制」強化に向けた投資を行います

中期経営計画「NeXuS 2023」では、海外鉄鋼事業の収益力強化を最重要課題と位置づけています。当期においては長年行ってきた海外投資の成果が形になりつつあり、海外鉄鋼事業が支えとなりました。引き続き、日本・ベトナム・北米の「世界3極体制」の盤石化を図り、当社グループの主力事業を強化していく所存です。

その一環として本年1月、ベトナム北部とカナダにおける設備能力増強投資を決定しました(P.7をご参照ください)。ベトナムでは今後も伸長する同国の鉄鋼需要を取り込むためのシェア拡大を、カナダでは鉄筋サイズのフルラインアップによる拡販を目指します。

国内では、山口事業所の設備更新プロジェクトに着手しました。同事業所は、国内最大の生産拠点であり、環境リサイクル事業の拠点でもある当社グループの主力工場です。世界的に電炉事業が再評価されている中、新しい時代に対応する工場づくりに取り組んでいきます。

— 「100年企業」の実現を目指して

「見えざる資産」への投資に注力します

当社は本年、創立75周年を迎えます。今後も成長を続け、「100年企業」を実現するためには、人的資本や知的財産といった「見えざる資産」、すなわち無形資産への投資が不可欠です。当社では本年4月に「研修センター」、「サステナブルテクノロジー研究センター」を開設しました。前者は、教育研修の強化による製造現場を含めた多種多様な人材の育成や能力開発、後者は、当社がこれまでに培った電炉熔融技術とそこから派生した環境リサイクルに関わる技術のさらなる高度化を目指すためのものです。また、国内生産拠点の事務所棟や厚生棟の建て替えなど、職場環境の整備も進めています。いずれもすぐに利益に結びつくものではありませんが

当社グループの持続的な成長のために必要かつ有益な投資だと考えています。これらに加え、女性やキャリア人材などの採用も積極的にを行い人材の多様化を図ってまいります。

上記の取り組みを進め、引き続き、鉄資源のリサイクルを中核とした資源循環型事業を通じて、社会の発展と地球環境との調和に貢献する「エッセンシャル・カンパニー」を目指してまいります。

なお、創立75周年となる次期の配当につきましては、株主の皆様への感謝をお示ししたく、普通配当40円に加え、記念配当5円を予定しています。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画「NeXuS 2023」の進捗状況

	2021年度		2022年度 (予想)	2023年度 (中期計画)
	中期計画	実績		
売上高	2,600億円	2,927億円	3,800億円	2,900億円
経常利益	100億円	105億円	110億円	180億円
出荷量	360万ト	332万ト	365万ト	400万ト
(国内)	163万ト	158万ト	160万ト	170万ト
(海外)	198万ト	174万ト	205万ト	230万ト
ROS	3.8%	3.6%	2.9%	6%以上
ROE	4.0%	4.0%	3.9%	7%以上
配当性向	29.0%	27.5%	30.1%	30%程度
設備投資・事業投資	130億円	130億円	330億円*	
計画：600億円/3ヶ年				

※決裁ベース

もっと知りたい 共英製鋼

Vol07 安全対策編

ご安全に！



安全は優先順位の問題ではなく、絶対的な前提条件との考えに立脚し、設備の改善はもとより、個人の安全意識向上にも積極的に取り組んでいます。今日の安全は明日の安全を保証するものではありません。私たちメーカーにとって、安全は永遠のテーマです。本質的な安全対策を追求し、職場環境の改善に努めてまいります。

共英製鋼株式会社 上席執行役員
本社生産企画部・環境リサイクル部担当 横山 政美

安全第一！



山口事業所
製造部 安全環境管理課長 森下 彰

ヨシ！

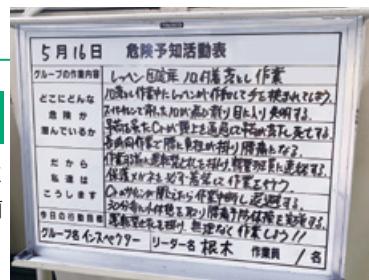


指差呼称

- 対象物をしっかり見て指を差す。
- 確認項目を声に出して確かめる。

危険予知活動表

始業時に、作業内容とそれに伴う災害リスクと対策を事前に確認します。



「ご安全に！」これは、私たちが職場で日常的に使っているあいさつです。今回の「もっと知りたい」のテーマは、共英製鋼グループの製造拠点における安全対策の取り組みについて。安全確認の基礎から最新鋭の設備まで、様々な角度からご紹介します。



危険体感教育

VR（仮想現実）技術を活用して、転倒や感電、はさまれなどにつながる危険行為をまるで現実であるかのように体感し、事故の防止について考える安全研修を行っています。



VR専用ヘッドセットやグローブを着用して実施



ゴーグル内の様子(高所からの墜落)



作業環境や手順を確認している様子



気付いた点はしっかり指摘



安全相互パトロール

製造拠点間で相互にパトロールし、改善指導や提案を行います。外部からの視点でなければ気付けない災害リスクを早めに摘み取ることができます。コロナ禍以降は、オンラインツールを用いて実施しています。



危険作業のロボット化

従来、人が行っていた炉前などでの危険を伴う作業のロボット化に取り組んでいます。AIを利用した画像・動画解析による成分分析の自動化など、産学連携の下で課題解決に努め、危険作業の撲滅を目指します。



新設したサンプリングロボット(関東スチール(株))



溶鋼温度を測定する無線ロボット(山口事業所)

Business topics

海外子会社における設備投資について

海外鉄鋼事業の収益力強化と成長拡大の準備のため、ベトナム北部とカナダの事業拠点において、設備能力の増強投資を実行することとしました。いずれも2024年度初めの稼働開始を目標としています。

	ベトナム北部設備投資概要
内 容	製鋼・圧延工程の一貫化による生産効率向上
生 産 量	年産30万トン→同80万トン
投資総額	約80百万ドル

	カナダ設備投資概要
内 容	圧延ライン増強と製鋼工程効率化鉄筋サイズのフルラインアップ化
生 産 量	年産26万トン→同36万トン
投資総額	約110百万カナダドル

日本経済新聞・テレビ大阪の連動企画「現場探究」にて紹介

2021年12月に、日本経済新聞とテレビ大阪の連動企画にて、当社枚方事業所が紹介されました。当企画は、現場の創意工夫をテーマとする内容で、電気炉による鉄づくりを中心に、環境リサイクル事業なども紹介されています。ぜひ以下のリンク先よりご覧ください。

こちらからご覧いただけます



日経電子版 現場探究 3000度の赤光、鉄くずに新たな命 ビジュアルで迫る現場
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF157DC0V11C21A100000/>



テレビ大阪ニュース 灼熱の電炉で廃棄物を無害化 鉄くずに新たな命を吹き込む再生現場
https://www.youtube.com/watch?v=0ctr6SzeMiU&feature=emb_title



鉄スクラップや産業廃棄物を溶解する電気炉

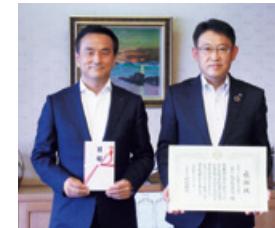


操作室での収録の様子

ESG topics

2021年度に実施した寄付について

2021年度において、当社グループは、メスキュード医療安全基金、地域社会貢献基金などに加え、新型コロナウイルス感染症と闘う医療機関への支援やウクライナ情勢に関連する人道的支援など、総額約26百万円（2021年度単体純利益の1.1%）の寄付を実施いたしました。



メスキュード医療安全基金の贈呈式

「健康経営優良法人（大規模法人部門）2022」に認定

経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度において、“社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人”として「健康経営優良法人（大規模法人部門）2022」に認定されました。引き続き、より安全で働きやすい職場環境づくりや健康増進・福利厚生の向上を目指します。



枚方事業所製品倉庫の太陽光発電設備が稼働開始

2022年1月、枚方事業所製品倉庫の屋根に太陽光パネルが設置され、稼働開始しました。この太陽光発電設備によって削減されるCO₂排出量は、年間約190トンとなる見込みです。電炉メーカーである当社は鉄スクラップの溶解などに多くの電力を消費するため、今回の発電設備による全電力消費量に対する効果は限定的となりますが、太陽光発電による自家発電・自家消費で事業採算性が担保できる実証モデルとして、今後さらにグループ内に展開していく方針です。



この製品倉庫は2021年7月に竣工



発電状況を随時確認できるモニター



太陽光パネルの面積は約3,250㎡

連結貸借対照表(要旨)

科目	前期末	当期末
	2021年3月31日現在	2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	169,894	194,020
固定資産	112,388	120,183
有形固定資産	94,377	99,201
無形固定資産	3,615	4,167
投資その他の資産	14,396	16,816
資産合計	282,282	314,203

連結損益計算書(要旨)

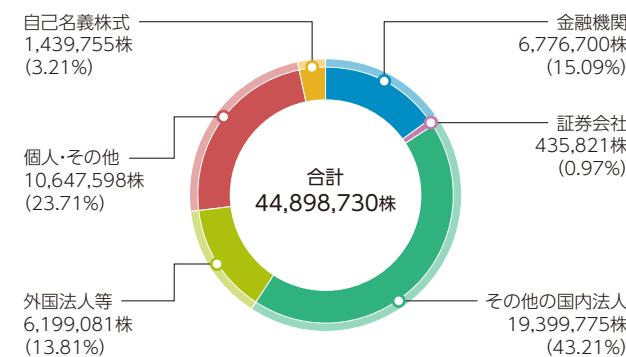
科目	前期	当期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	226,371	292,719
売上原価	198,112	266,820
売上総利益	28,258	25,899
販売費及び一般管理費	15,602	17,080
営業利益	12,656	8,819
営業外収益	2,164	3,075
営業外費用	1,886	1,344
経常利益	12,935	10,549
特別利益	249	120
特別損失	449	588
税金等調整前当期純利益	12,735	10,081
法人税、住民税及び事業税	3,714	1,398
法人税等調整額	△248	949
当期純利益	9,269	7,734
非支配株主に帰属する当期純利益	481	1,411
親会社株主に帰属する当期純利益	8,788	6,322

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,300,000株	
発行済株式総数	44,898,730株	
株主数	17,846名	
大株主	株主名	持株数 持株比率 ^{*1} _{*2}
	日本製鉄株式会社	11,592,932株 26.68%
	高島 秀一郎	4,347,460 10.01
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,705,200 6.23
	高島 成光	2,233,000 5.14
	三井物産株式会社	1,470,000 3.38
	合同製鉄株式会社	1,347,000 3.10
	株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター株式会社退職給付信託口)	1,308,900 3.01
	エア・ウォーター株式会社	1,291,500 2.97
	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	922,538 2.12
	株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター防災株式会社退職給付信託口)	692,000 1.59

*1 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。
*2 持株比率は、自己株式(1,439,755株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況 (2022年3月31日現在)



会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)	
設立	1947(昭和22)年8月21日	
資本金	185億16百万円	
従業員数	4,021名(連結:正社員)	
主な事業	(1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・ 処分業および自動車リサイクル事業ならび に廃棄物再生資源化事業 (3) 鉄筋・ネジ節鉄筋加工と組立工事	
関係会社	関東スチール(株) 共英産業(株) (株)共英メソナ 共英リサイクル(株) 共英加工販売(株) (株)吉年 ビナ・キョウエイ・スチール社 キョウエイ・スチール・ベトナム社 ベトナム・イタリー・スチール社 チャー・バイ・インターナショナル・ポート社 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社 ビントン・スチール社 アルタ・スチール社 中山鋼業(株) 他	

役員 (2022年6月24日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	上席執行役員	白石 愛明
代表取締役社長	廣富 靖以	上席執行役員	横山 政美
取締役・専務執行役員	坂本 尚吾	上席執行役員	橋本 公宣
取締役・常務執行役員	国丸 洋	上席執行役員	松本 哲哉
取締役・常務執行役員	北田 正宏	上席執行役員	西村 周
取締役・上席執行役員	川井 健司	執行役員	林 進
取締役(社外)	山尾 哲也	執行役員	中谷 進亮
取締役(社外)	川邊 辰也	執行役員	宮村 明央
取締役(社外)	山本 竹彦	執行役員	岩佐 博之
取締役(社外)	船戸 貴美子	執行役員	米村 泰宏
常勤監査役	前田 豊治	執行役員	藤岡 進一
監査役	市原 修二	執行役員	上道 雅文
監査役(社外)	介川 康弘	執行役員	沢村 真人
監査役(社外)	宗岡 徹	顧問・ファウンダー 名誉会長	高島 成光

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	5440

株式に関する住所変更等の届出およびご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等の届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株主優待制度について

当社は、長期にわたり当社株式を保有いただいている株主の皆様のご支援に感謝するとともに、今後より多くの方々へ中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を設けております。

保有株式数および継続保有期間に応じ、以下の優待品をお贈りいたします。

優待品/QUOカード

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分

詳しくは、当社ウェブサイト「投資家情報/株式情報/株主優待」をご覧ください。

共英製鋼株式会社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階
TEL 06 (6346) 5221 (代表) URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>

株主向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス

②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード **5440**

…… 以下の方法でもアンケートにアクセスできます ……

検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。
アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を
進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 (2201)
MAIL: info@e-kabunushi.com

IRメール配信 サービス を実施しています。



最新のIRニュースや適時開示情報等、
ご登録のメールアドレスにお送りいたします。
以下のURLよりご登録手続きください。

<https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/ir/mail.html>

